

良食味・高品質米生産のための適期刈取りについて

宮城県米づくり推進本部
令和8年8月28日

**例年に増して刈取時期の適切な判断が求められます。
適期刈取りによる良食味・高品質米の生産に努めましょう！！**

- 1 本年の出穂期（県内水稻の50%が出穂した日）は8月1日で、平年並みとなりました（昨年より2日遅い）。
8月1日に出穂期を迎えた北部平坦地帯における「ひとめぼれ」の刈取適期は9月9日頃から9月16日頃となる見込みです。（表1参照）
- 2 本年はほ場ごとの出穂時期の差が平年に比べ大きく、また出穂期や籾数の違いにより登熟の進展に差が生じることから、ほ場ごとに籾の熟色等をよく観察して刈取適期を判定し、刈遅れに注意しましょう。（図1参照）

1 刈取適期の判定

（1）出穂日からみた刈取適期の目安

出穂後の積算平均気温による刈取適期の目安は、「ひとめぼれ」で940℃～1,100℃です。地帯区分・出穂期別の刈取適期の目安（表1）を参考に、適期刈取りを行いましょう。

表1の見方

北部平坦地帯で出穂期が8月1日の場合、9月9日～9月16日が刈取適期と見込まれます。

表1 地帯区分・出穂期別の「ひとめぼれ」刈取適期の目安

地帯区分	積 算 平均気温	出 穂 期				
		7/26	8/1	8/6	8/11	8/16
北部平坦	940℃ 1,000℃ 1,100℃	出穂期の翌日から各積算平均気温に到達する日(推定)				
		9/3	9/9	9/14	9/19	9/25
		9/6	9/12	9/17	9/22	9/29
		9/10	9/16	9/21	9/27	10/4
南部平坦	940℃	9/3	9/9	9/14	9/19	9/25
	1,000℃	9/6	9/12	9/16	9/22	9/28
	1,100℃	9/10	9/16	9/21	9/27	10/3
仙台湾沿岸	940℃	9/2	9/8	9/13	9/19	9/24
	1,000℃	9/5	9/11	9/16	9/22	9/28
	1,100℃	9/9	9/15	9/20	9/27	10/3
西部丘陵	940℃	9/4	9/10	9/15	9/21	9/27
	1,000℃	9/7	9/13	9/18	9/24	9/30
	1,100℃	9/11	9/17	9/23	9/29	10/6
三陸沿岸	940℃	9/4	9/10	9/15	9/20	9/26
	1,000℃	9/7	9/13	9/18	9/23	9/29
	1,100℃	9/11	9/17	9/22	9/29	10/5
山間高冷	940℃	9/6	9/12	9/17	9/23	9/29
	1,000℃	9/9	9/15	9/20	9/26	10/3
	1,100℃	9/13	9/20	9/25	10/2	10/9

- 注1 積算気温の940℃、1,000℃、1,100℃は、それぞれ「ひとめぼれ」の刈取早限、刈取適期、刈取晩限の目安。
- 2 出穂期別の積算気温の目安に到達する日は、出穂期翌日からの積算平均気温が940℃、1,000℃、1,100℃を越えた日とし、8月26日まではアメダスの実況値、8月27日以降は過去5か年（令和3～7年）の平均値を用いて算出した。
- 3 使用したアメダス地点は、「北部平坦」：古川、築館、米山、鹿島台、大衡、「南部平坦」：白石、丸森、「仙台湾沿岸」：亘理、名取、仙台、石巻、「西部丘陵」：蔵王、川渡、「三陸沿岸」：気仙沼、南三陸、「山間高冷」：新川
- 4 県平均刈取盛期は平年値9月30日、前年値9月25日。

表2（参考）県地方振興事務所・地域事務所別の令和8年産の出穂状況

地区名	大河原	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	県平均
出穂始期	7/27	7/25	7/26	7/24	7/28	7/28	7/30	7/26
出穂期	8/4	7/31	8/1	8/4	7/31	7/31	8/6	8/1
穂揃期	8/18	8/12	8/10	8/18	8/10	8/17	8/12	8/14

注1 出穂始期、出穂期、穂揃期は、水稻作付面積のうち、出穂期を迎えたほ場（ほ場内の50%以上が出穂したほ場）がそれぞれ5%、50%、95%に達した時期

(2) 適期刈取について

- ・積算平均気温が刈取晩限（「ひとめぼれ」だと1,100℃程度）を超過すると胴割粒や着色粒が増加し、また食味が低下するおそれがあることから、刈取適期内に刈り取りましょう。
- ・収穫適期に達する積算平均気温は、品種によって異なるので、表3を参考に刈取適期を判断しましょう。
- ・㎡当たり籾数が少ないと刈取適期は早まりますが、籾数が多くても刈取晩限は遅くはならないので注意しましょう。
- ・倒伏がみられるほ場では、穂発芽による品質低下が生じやすいことから、刈取早限に達したら直ちに刈り取りましょう。

表3 品種ごとの出穂後積算平均気温による刈取適期の目安

	刈取早限 ～ 刈取晩限
ひとめぼれ	940℃ ～ 1,100℃
ササニシキ	930℃ ～ 1,150℃
だて正夢	1,020℃ ～ 1,060℃
金のいぶき	1,050℃ ～ 1,150℃
つや姫	1,000℃ ～ 1,200℃

(3) 籾熟色によるコンバイン収穫期の予測・判定

「ひとめぼれ」では平均穂数株において稈の長さが中庸な枝梗数8本の穂の中位二次枝梗籾の籾色を観察することにより、成熟段階が判定でき、刈取適期を予測できます。

表4 「ひとめぼれ」の籾色による成熟段階

成熟段階	籾熟色	備考
I	第1位籾が急速に黄化開始。	
II	第1位籾がほぼ黄化（90％）。	
III	第1位籾が殆ど黄化し（95％）、第2、3位籾が黄化開始。	刈取適期
IV	第1位籾の黄化100％、第2、3位籾が30％黄化。	
V	第2、3位籾が50％以上黄化。	



図1 籾熟色によるコンバイン収穫期の予測判定（ひとめぼれ）

2 良食味・高品質米に仕上げる収穫・乾燥調製

(1) 収穫作業

- ・コンバイン収穫では籾水分が高いと損傷が多くなることから、籾水分 25%以下を目標に刈取作業を行い、降雨直後や朝露のある時間を避けましょう。
- ・複数の品種の刈取りを行う場合、品種が替わる際に十分な清掃を行い、機械内における異品種の混入を未然に防ぐよう注意しましょう。
- ・倒伏している場合、他の稲とは別に刈分けを実施し、収穫物に石などの異物が混入しないよう注意しましょう。
- ・鉄コーティング直播は特に倒伏しやすいので、刈取適期に達したら早めに刈り取りましょう。

(2) 乾燥・調製作業

- ・収穫した生籾を放置すると発熱して変質米の原因となることから、刈取り後、速やかに乾燥機に張り込み、送風しましょう。やむを得ず高水分籾を刈り取った場合は、必ず通風して高水分域の籾や付着水を乾かし、水分バラツキを少なくしてから火力乾燥します。
- ・倒伏した稲や未熟粒が多い稲などを機械乾燥する場合、二段乾燥（籾水分が 20%以下になるまで乾燥した後、乾燥を一時停止し、籾の水分ムラが少なくなってから再度仕上乾燥を行う）を行い、水分ムラや胴割粒の発生を抑えましょう。
- ・仕上がり玄米水分は 14.5%～15.0%が目標です。正確な水分測定のために、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分を測定し過乾燥を防止しましょう。
- ・籾摺は肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式籾摺機の場合は、籾（品種）に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ・異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わる際に機械類の清掃を徹底しましょう。

(3) 共同施設の利用

大規模共同乾燥調製施設（カントリーエレベーター等）を有する地域では、積極的に活用し、品質の向上と均一化、施設の利用率向上に努めましょう。

【徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策】

秋の農作業安全確認運動

～令和8年9月1日から11月30日まで～

シートベルト・ヘルメットの着用を徹底！

